

令和元年 9 月 4 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学大学院医学研究科 教授 飛田 秀樹
(名古屋市政記者クラブ・文部科学記者会・科学記者会
・京都大学記者クラブ・岡崎市政記者クラブと同時発表)

研究成果報告に関する記者会見の実施について

会見実施日時: 令和元年 9 月 13 日(金) 13:00~14:00

名古屋市立大学は、研究成果に関する記者会見を、下記のとおり実施いたします。
報道各社におかれましては、記者会見にご参加くださいますようお願いいたします。

記

日時	令和元年 9 月 13 日(金) 13:00 - 14:00	
場所	文部科学省 記者会見室 (東京都千代田区霞が関 3-2-2)	
タイトル	リハビリは脳の回路をダイナミックに変化させ、機能を再建する (-脳卒中後のリハビリによる運動機能の回復には、脳幹を介した複数の回路が協力して関わる-)	
概要	<p>脳卒中後のリハビリテーションは運動機能の回復に重要です。生き残った神経細胞同士のネットワークの再構築が重要と考えられています。</p> <p>以前の研究で、名古屋市立大学大学院医学系研究科の飛田秀樹教授および石田章真講師を中心とする研究チームは、京都大学医学研究科および自然科学研究機構生理学研究所との共同研究により、脳出血後の集中リハビリテーションによる神経回路(運動野-赤核路)の変化が運動機能の回復との間に因果関係があることを初めて明らかにしました。</p> <p>今回、脳出血を生じさせたラットに集中的なりハビリテーションを実施すると、まず優先的に運動機能を司る大脳皮質の「運動野」と脳幹の「赤核」とを結ぶ軸索が増加すること、しかしこの神経回路がうまく働かない場合には新たに脳幹の「網様体」への軸索が増加し、何となくでも障害された運動機能を回復しようとする仕組みが存在することを、先進技術であるウイルスベクターによる神経回路操作技術(ウイルスベクター二重感染法)により証明しました。</p>	
発表者	名古屋市立大学大学院医学研究科脳神経生理学分野	飛田秀樹 教授 石田章真 講師
	京都大学大学院医学研究科神経生物学分野 同高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点(WPI-ASHBi)副拠点長・PI	伊佐正 教授

【記者会見実施に関する問い合わせ先】

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

名古屋市立大学事務局企画広報課広報係

Tel:052-853-8328

E-mail: ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp